

令和7年度 学校関係者評価書

宇和島市立番城小学校

1 確かな学力の定着と向上（必須）

- 児童の実態に合わせた授業を進められていると思う。
- 授業改善や家庭と連携しながら学力の向上が図られている点が評価できる。それぞれの立場での頑張りが見られる。
- 読書活動については、教師による評価が前期で低い状態であった。本に親しむ習慣作りのためには、学校や家庭での読書環境を整えることが大切であると思う。教師や保護者が読書に親しむ姿を見せることが効果的だと思うので、取組をさらに工夫して欲しい。

2 生徒指導の充実（必須）

- 児童一人一人に対して、組織として取り組んでいるという特性が見られた。
- 生徒指導上の諸問題によく対応できていると思う。今後も児童の健全育成に努めてほしい。
- 生徒指導主事を中心に、教員同士がしっかりとコミュニケーションがとれていると思う。
- ◇ 生徒指導上の問題を一部の児童の問題と捉えるのではなく、今の番城小学校の生徒指導上の課題が表面化していると考えることが大切だと思う。
- いろいろなところで児童の気になる話を聞くことがある。児童の健全育成のためには、学校、家庭、地域が連携、協力して対応していくことが必要だと思う。傾向として、社会とのつながりを十分に学んでいない児童が多いようなので、保護者の協力が不可欠であると思う。

3 働き方改革（必須）

- 番城小学校では、教職員同士の協力体制がしっかりしていて素晴らしいと思う。
- 教職員の意識改革や業務上の工夫が見られている。教職員の協力体制の強化を図り、働きやすい環境づくりに努めてほしい。
- ◇ 力量の差はどうしてもあるかと思うが、仕事をうまく分散させたり協力体制を強化させたりすることで、解消できることがあるはずである。仕事ができる教員が体を壊さないためにも、チームで仕事を進めていかないといけないと思う。
- 本校でも育児休業を取得する男性教員がいる。教員も育児を大切にすることは本当に大事なことだと思う。長期的な視点で、教員が仕事を継続できるよう応援したい。

4 地域との連携（必須）

- 地域の関係諸団体の協力もあり、特に後期において地域学習が進んでいる。交流活動を楽しみにしている地域住民も多く、大変有難い。
- 地域学習について、保護者の評価が低いのが気になる。周知についても努めてほしい。
- 学校運営協議会について、教職員、保護者を含む地域に対して、理解を深めてもらうための取組をしていく必要がある。
- ◇ P T A活動がエントリー制になったが、P T A以外の地域にもボランティアとして関わりたい方が多くいるので、門戸を広げてほしい。

5 その他

- 学校生活全般において、教員一人一人が真剣に取り組んでいることが、教職員自己評価の文面より、とてもよく分かる。評価をしながら課題に気づき、改善策を考え指導されているので、必ずよい方向に向かっていくと思う。日々大変だと思うが、今後も地域の子どもたちのために尽力いただきたい。
- ◇ 学校評価からも地域ができることがあるように思った。学校運営協議会の活性化を図っていただきたい。